

## 浄化槽の設置及び補助金申請にかかる留意事項

### 【 設置場所について 】

浄化槽本体及びブロワーの設置については、冬期間も容易に維持管理ができる場所に設置すること。特にブロワーは雪に埋もれることのない場所に設置すること。また、浄化槽本体の上に屋根からの落雪が直撃するような場所への設置は行わないこと。

### 【 人槽算定について 】

浄化槽の人槽は、実使用人員（現在の居住人員と将来増加が予想される人員）を基に決定してください。算出困難な場合のみ、住宅床面積による人槽算出を行ってください。

### 【 見積書（精算書）について 】

平成24年度から県補助事業が始まったことにもない、見積書（精算書）に関しては浄化槽本体工事費を明確にして作成していただくこととなります。したがって、浄化槽本体工事費と配管工事等その他の工事費とは別表にしてまとめてください。

#### ☆ 浄化槽本体工事費に含まれるもの

浄化槽本体、浄化槽を設置するための掘削、基礎、埋め戻し、積雪対策、ブロワー工事 等

#### ☆ 浄化槽本体工事費に含まれないもの

流入及び放流に係る配管、柵、放流ピット、放流ポンプ（ポンプ一体型のポンプ部分） 等

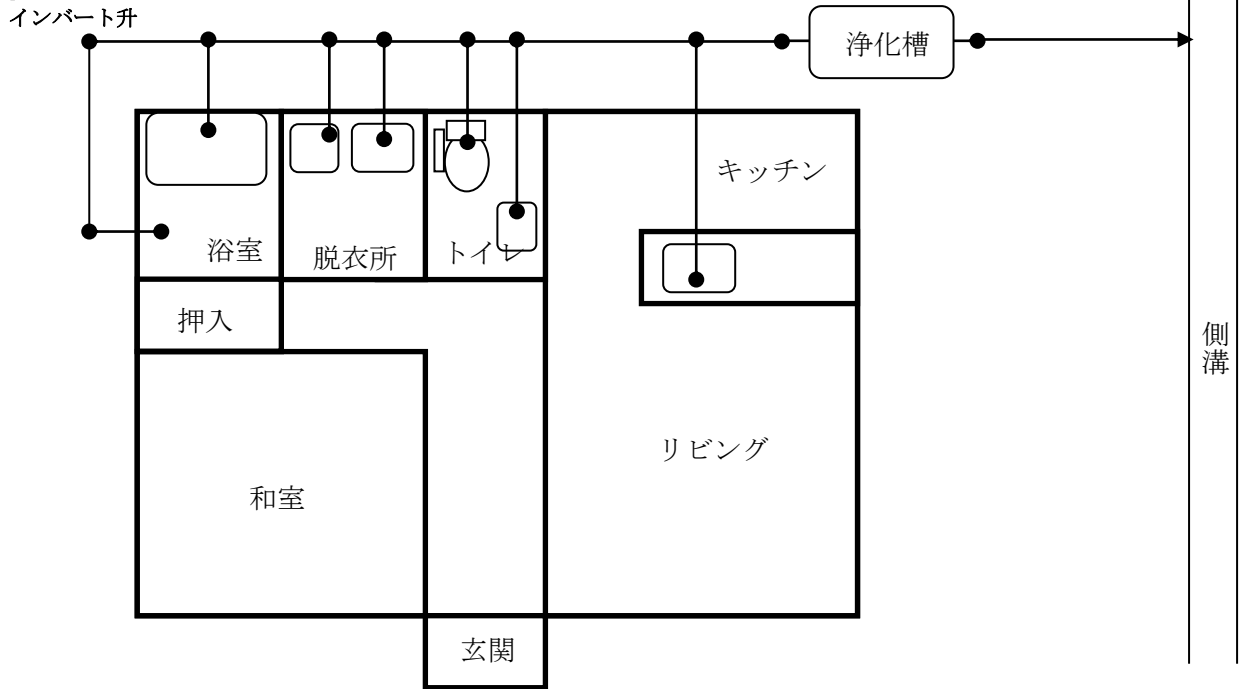
※ 浄化槽設置に係る設計費、監理費、重機損料等の経費は含まれるものとしませんが、浄化槽本体工事費として扱う場合は、それ以外の工事費と適切に按分してください。

## 提出書類での注意点

### ○設置見取図について

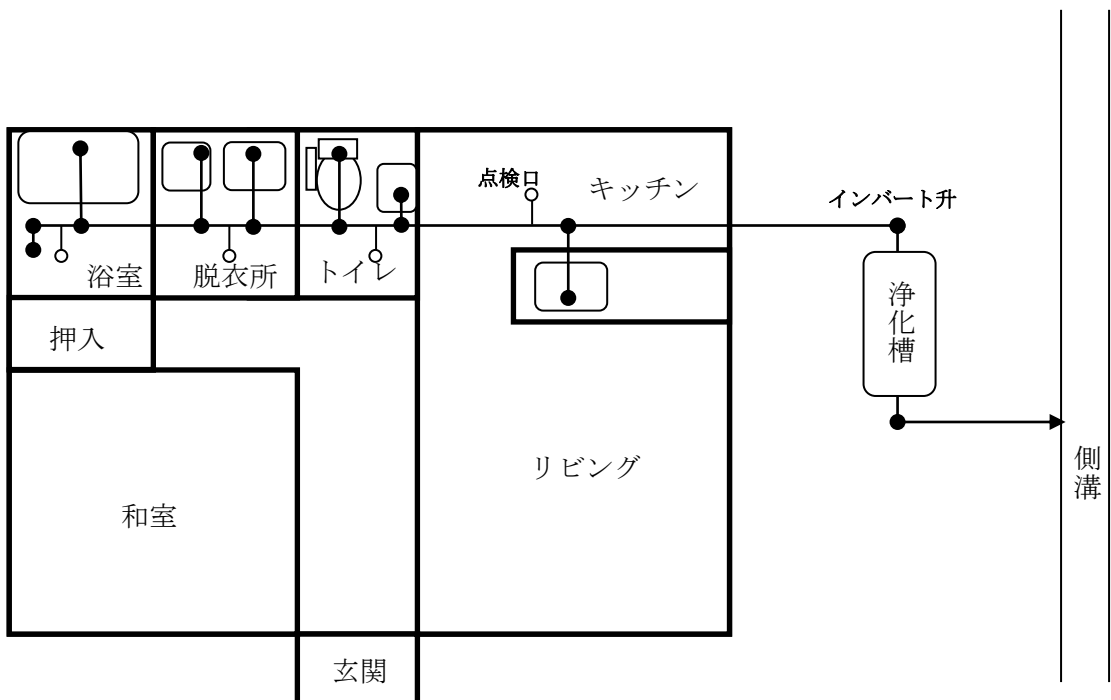
- ・現地ときちんと合った設置見取り図を添付すること。下記図のように配管の線も宅内のどこから排水しているかもきちんと記すこと。

例



- ・やむをえず宅内配管にする場合は、必ず点検口を設け、設置見取図には点検口の位置も記すこと。

例



チェックリスト

検査項目	チェックポイント	欄
1. 流入管きよ及び放流管きよ勾配	汚物や汚水の停滞がないか。	
2. 放流先の状況	放流口と放流水路の水位差が適切に保たれ、逆流のおそれはないか。	
3. 接結合等の有無	生活排水が全て接続されているか。	
	雨水や工場排水等が流入していないか。	
4. 升の位置及び種類	起点、屈曲点、合流点及び一定間隔ごとに適切な升が設置されているか。	
5. 流入管きよ、放流管きよ及び空気配管の変形、破損のおそれ	管の露出等により変形、破損のおそれはないか。	
6. かさ上げの状況	バルブの操作などの維持管理を容易に行うことができる。	
7. 浄化槽本体の上部及びその周辺の状況	保守点検、清掃を行いきい場所に設置されていないか。	
	保守点検、清掃の支障となるものが置かれていないか。	
	コンクリートスラブが打たれているか。	
8. 漏水の有無	漏水が生じていないか。	
9. 浄化槽本体の水平の状況	水平が保たれているか。	
10. 接触材等の変形、破損、固定の状況	嫌気ろ床槽のろ材及び接触ばっ気槽の接触材に変形や破損はないか。	
	しっかり固定されているか。	
11. ばっ気装置、逆洗装置及び汚泥移送装置の変形、破損、固定及び稼働の状況	各装置に変形や破損はないか。	
	しっかり固定されているか。	
	空気の出方や水流に片寄りはないか。	
12. 消毒設備の変形、破損、固定の状況	消毒設備に変形や破損はないか。	
	しっかり固定されているか。	
	薬剤筒は傾いていないか。	
13. ポンプ設置(流入ポンプ及び放流ポンプ)の設置、稼働状況	ポンプ升に変形や破損はないか。	
	ポンプ升に漏水のおそれはないか。	
	ポンプが2台以上設置されているか。	
	設計どおりの能力のポンプが設置されているか。	
	ポンプの固定が十分行われているか。	
	ポンプの取りはずしが可能か。 ポンプの位置や配管がレベルスイッチの稼働を妨げるおそれはないか。	
14. ブロワーの設置、稼働状況	防振対策がなされているか。	
	固定が十分行われているか。	
	アースはなされているか。	
	漏電のおそれはないか。	
<p>上記のとおり確認したことを証します。</p> <p>年 月 日</p> <p style="text-align: center;">担当浄化槽設備士氏名 (浄化槽設備士免状の交付番号</p> <p style="text-align: right;">印 )</p>		

## 工事写真について

各工程が確実に行われていることを示す写真を記録しておくこと。

- ☆ 浄化槽設備士が実地に監督していることを証する写真  
(浄化槽設備士、黒板、浄化槽工事業者標識が写っているか)
- ☆ 着工前の状況
- ☆ 床付けの完了状況
- ☆ 山留め工事状況
- ☆ 基礎砕石敷設転圧工事状況 (基礎砕石の厚みも確認できるか)
- ☆ 捨てコンクリートの打設状況 (捨てコンの厚さが確認できるか)
- ☆ 支柱の取り付け状況
- ☆ 基礎工事の状況 (基礎底版コンクリートの配筋状況)
- ☆ 基礎工事の状況 (基礎底版コンクリートの寸法、厚さが確認できるか)
- ☆ 浄化槽本体搬入 (申請どおりの浄化槽か確認できるか)
- ☆ 据付工事の状況 (水張り状況)
- ☆ 据付工事の状況 (水平を保ちつつ埋め戻し、水締め、突き固めを行っていることが確認できるか)・・・水平器で水平を確認している状況
- ☆ 嵩上げの状況 (高さが確認できるか)
- ☆ 上部スラブコンクリートの配筋状況
- ☆ 上部スラブコンクリート状況 (スラブの厚さも確認できるか)
- ☆ 浄化槽工事竣工状況 (後片付け等が適正に行われていることも確認できるか)
- ☆ ブローラー設置状況
- (☆ ポンプ設置の場合は、ポンプ設置状況)

黒板には撮影した日付、各寸法も記入する

黒板の文字がはっきりと映るように撮影する

万一撮った写真で黒板の字が確認できない場合は、拡大写真を必ず撮影すること

上記の写真全て添付すること

## ○ 工事写真（記録のポイント）

項目	ポイント
① 現地着工前の写真	・ 設備士が標識看板を持ち、設置場所や工事の周辺状況がわかるように写す
② 基礎工事	
掘削、床付け	・ 標識看板をいれ、スケール機材を含めて撮影する
栗石、採石地業	・ 転圧を行っている状況がわかる写真 ・ 採石の厚さを測っている写真（10 cm以上）
捨てコンクリート	・ 捨てコンクリートの厚さがわかる写真（5 cm以上）
基礎コンクリート	・ 型枠の大きさ、配筋の状況（ピッチ等）がわかる写真 ・ 養生後のコンクリート厚がわかる写真（10 cm以上）
支柱	・ フープ筋が確認できる写真
③ 浄化槽搬入状況	・ 浄化槽の全体を撮影する
④ 据付工事	・ 水張りを行っている写真 ・ 水平器を使用し水平を確認しながら埋戻しを行っている写真 ・ 水締めを行っている写真 ・ 水平器を使用して水平を確認しながら突き固めを行っている写真（水平器、突き固めの道具を含めて撮影する）
⑤ 上部スラブ	・ 大きさ、配筋の状況（ピッチ等）がわかる写真 ・ 養生後のコンクリート厚がわかる写真（15 cm以上）
⑥ かさ上げ	・ かさ上げ部分を測っている写真（30 cm以内）
⑦ 工事完了の写真	・ 完成後の全体の状況がわかる写真 ・ 放流場所及びブロワーの設置状況がわかる写真

※ 浄化槽設備士が実地に監督している状況では、標識に登録番号、登録年月日、浄化槽設備士の氏名がわかるようにしてください。